

岐阜県国際交流員による 文化交流学習



国際交流員の講師の先生に來校いただき、ブラジルとイギリスの文化や福祉の現状について講義を受けました。海外における福祉の考え方や現状を知り、日本における福祉の状況との共通点や相違点について理解を深めることができました。

講義の様子

宮本 レオナルド氏 (ブラジル) による講義



ブラジルでは高齢化率は低く、日本のような少子高齢化の状況ではない。ブラジル国民にとっては、高齢化よりも治安のほうに関心が高いなど、様々な角度からお話いただきました。

ピーター・コリンズ氏 (イギリス) による講義



イギリスでは、日本と同じように高齢率が高い状況で、介護が必要になった時の社会的な支援の仕組みについて教えていただきました。

生徒の感想

日ごろは、日本を基準にしか福祉を考えることができませんでしたが、講師の先生からブラジルとイギリスの福祉の話聞き、国による加齢に関する意識や、生活スタイルの違いについて知ることができました。日本との共通点として、ブラジルやイギリスでも、介護施設での生活より、自宅で過ごすことを希望する人が多く、日本における地域福祉の充実の必要性について考えることができました。

